

タイトル「2020年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2020年度 経済学部シラバス」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	交通システム論		
担当教員	辻本 勝久		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	
曜日・時限		単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2・3年次		
科目名(英語表記)	Transport Systems		
授業の概要・ねらい	<p>持続可能な社会とは「環境保全」「社会の安定的維持」「経済発展」が鼎立する社会である。私的な自動車に過度に依存した従来型のまちづくりは必ずしも持続可能ではなく、徒歩・自転車・公共交通とマイカーを適切に活用する「かしこいまちづくり・ひとづくり」への転換が求められている。このような中で、環境・交通・道路・まちづくり等の政策領域をパッケージ化した「交通まちづくり」の有用性が指摘されている。</p> <p>地方都市圏においては、既にかかなりの程度まで車利用を前提としたまちづくりが進められているほか、高齢化の進展や厳しい財政状況の中、持続可能な社会づくりに向けた地方都市圏ならではの工夫が必要となる。</p> <p>この講義では、人口十数万～百万人規模の地方都市圏における交通まちづくりについて理論・実務の両面から論じる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 イントロダクション:地方都市圏の交通システムの現状と課題</li> <li>2 交通システムと都市圏の持続可能性(1)環境面から</li> <li>3 交通システムと都市圏の持続可能性(2)社会面から</li> <li>4 交通システムと都市圏の持続可能性(3)経済面から</li> <li>5 都市構造の転換: 拡散型都市からコンパクトシティへ</li> <li>6 需要追従型交通システム整備からの脱却(1)</li> <li>7 需要追従型交通システム整備からの脱却(2)</li> <li>8 社会的価値を重視した交通システムの整備・運営</li> <li>9 一人ひとりの意識と行動の転換を促す:モビリティ・マネジメント</li> <li>10 高齢社会の到来と福祉の交通まちづくり(1)</li> <li>11 高齢社会の到来と福祉の交通まちづくり(2)</li> <li>12 地方都市圏の公共交通幹線と交通まちづくり(1)</li> <li>13 地方都市圏の公共交通幹線と交通まちづくり(2)</li> <li>14 地方都市圏におけるバスの再生と交通まちづくり</li> <li>15 まとめと総復習</li> <li>16 単位認定試験</li> </ol>		
到達目標	<p>キーワードを理解し、簡単に説明できること。</p> <p>講義内容を踏まえて、持続可能な都市づくりに向けた提言を行えること。</p>		
成績評価の基準と方法	確認シートとグループレポート30%、単位認定試験70%。単位認定試験は参照不可とする。		
教科書	辻本勝久『地方都市圏の交通とまちづくりー持続可能な社会をめざして』学芸出版社。		
参考書・参考文献	山中・小谷・新田『改訂版まちづくりのための交通戦略 パッケージ・アプローチのすすめ』、学芸出版社。		
履修上の注意・メッセージ	私語防止のため履修者が確定次第、全席指定とする。その際、目が悪い等の事情には配慮する。90分間のうち前半は一般的な講義形式、後半はグループワークなどのアクティブラーニング形式で実施する。		
履修する上で必要な事項	IC学生証で出欠確認を行うので、必ず携帯すること。講義資料を電子配付するため、ノートパソコン必携である。		
受講を推奨する関連科目	政策科学I、政策科学II、都市政策、地域政策、中心市街地活性化論、その他カリキュラムツリーを参照のこと。		
授業時間外学修についての指示	本授業の授業計画に沿って、プリントの再読を中心に復習を行うこと。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学修を求める。		
授業理解を深める方法	グループワーク		
その他連絡事項	担当教員の発展演習や専門演習(ゼミナール)の受講を希望する学生には、受講を強く推奨する。		
オフィスアワー	火曜16:30-17:00(5時間目開講の時は12:45-13:00)		
科目ナンバリング	E238001PJ,E238002SJ		